

## 2 観光の現況と課題

目黒区は、多くの人々の「まち歩き観光」の対象となる可能性を秘めています。区内外の人々に目黒区でまち歩きを楽しんでいただくためには、地域資源の再認識と活用、観光まちづくりについての共通認識の確立、ソフト・ハード両面からの環境整備、情報提供の充実や交流活動の推進などを図っていくことが必要です。

### (1) まち歩き観光の定着

東京の広域的観光資源としては、浅草や谷根千（谷中・根津・千駄木）といった下町、皇居、東京タワーといった従来からの名所、東京駅、東京スカイツリー、虎ノ門ヒルズなどの新名所、そして銀座や原宿、秋葉原などの商業集積地があります。これらの観光スポットを鉄道やバスを利用して訪れるのが一般的な都市観光のスタイルです。

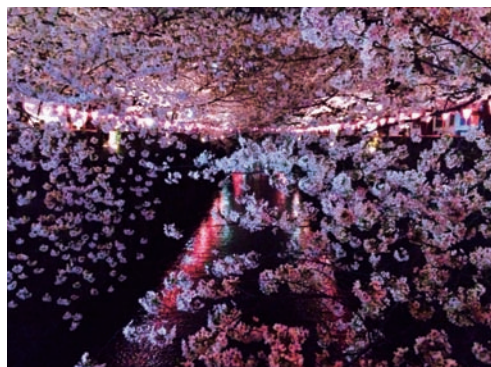
その一方で、近年、まちの一定のエリアをゆっくり時間をかけて散策する地域密着型の「まち歩き観光」が、都市観光のもうひとつのスタイルとして定着しています。

### (2) 目黒区の観光振興の実績と評価

近年では、桜の時期の目黒川や、大橋ジャンクション上の目黒天空庭園など、区内外から多くの人々が訪れる観光資源が増えています。しかし、まだ知られていない観光資源も多く、区内の観光資源が十分に生かされているとは言えません。

現在目黒区内では、商店街やめぐろ観光まちづくり協会等で、区民同士や区民と来訪者が交流を図ることができるイベント等が多数実施されており、多くの方が参加しています。しかし、各団体が個々に情報発信を行っており、参加者側はなかなか情報を効率的に入手しにくいのが現状です。

また、ガイドマップの作成やボランティアガイドの育成など、区を訪れる人々がまち歩きをしやすいような取組も行っており、多くの人々がまち歩きを楽しんでいます。その中で、多言語対応や標識の整備といった案内体制は、まだ十分に整っておらず、これから充実を図っていく必要があります。



多くの人々が訪れる目黒川沿いの夜桜



目黒天空庭園から見える富士山

(3) 目黒区の観光振興の課題

現状における、目黒区の観光振興の問題点と課題を整理すると、次のようになります。

現状

- 観光資源が十分に生かされていない。
- 区民や来訪者に区の観光資源があまり知られていない。
- 案内板、標識などが少ない。
- 案内体制が十分でない。
- イベントやまち歩きについての情報発信量が少ない。
- イベントや観光に関する情報が探しにくい。 など

課題

- 観光資源の再認識と活用
- 観光まちづくりの必要性についての共通認識の確立
- まち歩き観光のための環境整備
- 訪れる人を楽しませる仕掛けづくり
- 区内外の人々への情報提供の充実
- 来訪者との交流の促進
- 多言語対応の推進
- 案内体制の拡充 など

身近な観光資源



東山のイチヨウ並木



自由が丘スイーツフェスタのお菓子の家

身近な観光資源



中の橋（目黒川）



総合庁舎 屋上庭園「目黒十五（とうご）庭」から望む富士山



目黒寄生虫館



すずめのお宿緑地公園

身近なイベント



商工まつり（目黒リバーサイドフェスティバル）



中目黒夏まつり



区民まつり（目黒のさんま祭）



自由が丘女神まつり